

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

てんねんきねんぶつ

天然記念物

かんけい じょうほう 関係のある情報

【場所】井原市美星町黒忠

【時代】樹齢約200年

【指定年月日】平成17年3月16日

【所有】井原市

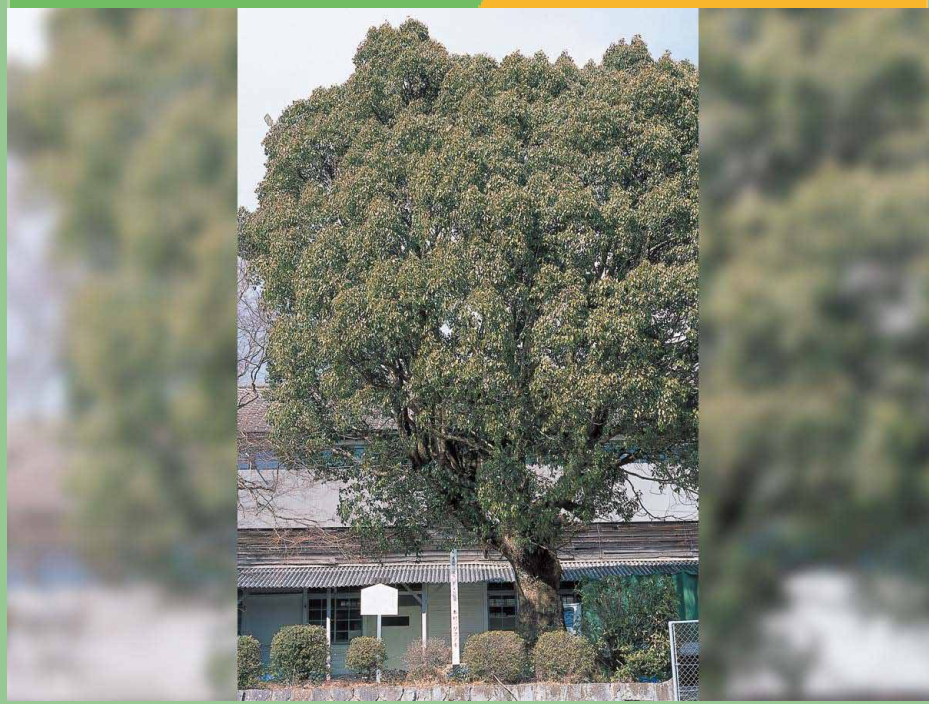
【見学】可

くろただのくすのき

黒忠のクスノキ

かんけい しまち
関係する市町

いほらし
井原市



てんねんきねんぶつ この天然記念物について

このクスノキ（クスノキ科）は、^{きゅうくろただしょうがっこう}旧黒忠小学校の校庭にあります。樹幹に比べ根部が極端に大きく、約0.5メートルも地上に露出(ろしゅつ)しています。また、地上約2～3mあたりで大きく枝分かれし、さらに上部で多数の枝が真っ直ぐ上に伸び樹冠を形成しています。根部が^{さかずき}盃を伏せたような形になっているのは地面が低くなったことを示しています。校庭は狭く、校舎の南側でしかも校舎に近い^{さかずき}ため昔から枝切りが行われていたらしく、充分に大きくなれなかったと推定されます。目通りは周囲2.8m、樹高16.0mで推定樹齢200年とされます。